

迎春

一人はみんなのために
みんなは一人のために



発行所
全国生活と健康を守る会連合会
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-12-15
KATOビル3階
電話 03(3354)7431 FAX 03(3354)7435
メール ma-press@zenseiren.tokyo
毎週日曜日発行 定価月々400円
1部売り100円 会員は会費を含む

権利を守る運動を多くの人に広げよう

全生連会長 **吉田松雄さん**



革新懇
代表世話人

石川康宏さん



吉田会長(左)と石川さん

2024年10月の総選挙で、自民・公明与党を過半数割れに追い込みました。今年25年の運動の展望などについて、全国生活と健康を守る会連合会(全生連)の吉田松雄会長と、平和・民主・革新の日本をめざす全国の会(全国革新懇)の代表世話人で神戸女学院大学名誉教授の石川康宏さんが対談を行いました。(永久俊満、佐藤 愛 1、2面)

石川さん70年の活動に驚く

吉田松雄会長(以下、吉田) おめでとうございます。

石川康宏さん(以下、石川) おめでとうございます。

吉田 昨年の総選挙

石川 神ですが、憲法どおりの政治がなかなか行な

石川 「健康で文化的な最低限度の生活」の引き上げを止まることなく求めつづけ、いのちのとりで裁判での勝ち越は、いよいよ基準を前向きに変えざるを得ないところまで現在の政治を追い込んできました。たいしたものだと思います。

過半数割れに追い込みました。全生連は「投票に行ったら政治を変えよう」「自民党を倒して要求を実現しよう」との対話運動を行い、一定の役割を果たすことができました。総選挙で切り開いた要求実現の可能性を生かした運動が必要で

吉田 今年7月には参議院選挙があり、国民の声で動く政治の実現が必要ですね。

石川 これまでの自民党政権にはもう戻れないことを明らかにしたい。軍拡だけにお金を注ぎ込む政治を変えて「もっと暮らしのために税金を使おう」。そういう願いでできるだ

自公政治に逆戻りさせない

票に行ったら政治を変えよう」「自民党を倒して要求を実現しよう」との対話運動を行い、一定の役割を果たすことができました。総選挙で切り開いた要求実現の可能性を生かした運動が必要で

吉田 70年ですね。

石川 これまでの自民党政権にはもう戻れないことを明らかにしたい。軍拡だけにお金を注ぎ込む政治を変えて「もっと暮らしのために税金を使おう」。そういう願いでできるだ

生活保護基準引き下げ違憲訴訟(いのちのとりで裁判)は、今年中に最高裁の判決が出ることもいわれています。

石川 この対談の準備のつもりで、生活と健康を守る会の目的やこれまでの活動を少し勉強してきました。「人の暮らしの最低限度は政治が支える」というのが憲法25条の精

石川 「健康で文化的な最低限度の生活」の引き上げを止まることなく求めつづけ、いのちのとりで裁判での勝ち越は、いよいよ基準を前向きに変えざるを得ないところまで現在の政治を追い込んできました。たいしたものだと思います。

石川 この対談の準備のつもりで、生活と健康を守る会の目的やこれまでの活動を少し勉強してきました。「人の暮らしの最低限度は政治が支える」というのが憲法25条の精

石川 これまでの自民党政権にはもう戻れないことを明らかにしたい。軍拡だけにお金を注ぎ込む政治を変えて「もっと暮らしのために税金を使おう」。そういう願いでできるだ

石川 「健康で文化的な最低限度の生活」の引き上げを止まることなく求めつづけ、いのちのとりで裁判での勝ち越は、いよいよ基準を前向きに変えざるを得ないところまで現在の政治を追い込んできました。たいしたものだと思います。

2025年 新年号の紙面

- ◇新春対談の続き (2面)
- ◇いのちのとりで裁判・最高裁勝利へ (3面)
- ◇被爆80年座談会 (4面)
- ◇滋賀の躍進 (5面)
- ◇各地の活動＝温泉、ミカン狩りなど (6～7面)
- ◇青年会員の要求 (8面)
- ◇料理、干支など (9面)
- ◇読者のひろば (10面)
- ◇読者文芸 (11面)
- ◇全生連美術館 (12面)



2024年の私の中の3大ニュースの1つ目は「与党・過半数割れ」です。裏金問題を引き金に衆議院で自民・公明合わせて73議席も減りました。その結果、与党の「独走」はできなくなり、かつて「安倍・一強」で何でも好き勝手にできた時代は終焉。憲法改悪に必要な3分の2議席の確保も遠くなり、緊急事態条項の書き込みも露と消えました。まずは一安心です。▼2つ目は「いのちのとりで裁判が18勝11敗」です。13年からの生活保護費削減の憲法違反を争点とした地裁の判決は、22年5月の熊本地裁勝訴から17勝3敗と大きく勝ち越しています。名古屋高裁では原告の完全勝利判決が出され、その余波が続いているのかもしれない▼3つ目は、「斎藤元彦兵庫県知事の再選」です。「SNS選挙の危うさ」や「公職選挙法の盲点をついた、違法とも思える立花孝志氏の立候補作戦には驚きました」▼情報リテラシーが絶対必要な時代になりました。民主主義と法を信じて行動するためにも。(敏)

際限なく保護基準 引き下げられる

石川 ところで全生 10%も引き下げまし
連は、生活保護基準の
決め方について「一般
低所得者の消費水準と
の比較方式を改め、新
たな基準策定方式に転
換することを求める」
と言っていますね。

吉田 2013年の
基準引き下げでも、収
入が生活保護基準以下
の人を含む一般低所得
者(国民を所得別に十
分割し、その最下位層
Ⅱ第一・十分位)の消
費支出と保護基準を比
較して保護基準の方が
高いとして、基準を平
均で6・5%、最大で

石川 なるほど。
吉田 保護基準の算
定方式を改めなけれ
ば、国民の最低生活の
底が抜けることになる
ので、算定方式の改善
を我々は主張していま
す。現に、社会保障審

議会の生活保護基準部
会のために、委員の人
たちが「厚労省は一刻
も早く新たな算定方式
を開発すべきだ」とし
ているけれども、国は
やろうとしない。

生活保護基準部会
は、この方式をもとに
保護基準を連続引き下
げが必要との「報告」
(答申)を行ってきま
した。また、財務省は、
この「報告」を根拠に、
今年25年度の保護基準
引き下げを強く主張し
ました。

「健康で文化的な最
低限度の生活」につい
て改善する運動を強めた
と思っています。



プロフィール

石川康宏(いしかわ・やすひろ)

平和・民主・革新の日本をめざす全国の
会代表世話人。神戸女学院大学名誉教授。



吉田会長

十分に検証を行い、
それらにふさわしい基準
を得られるものに算定
方式を改善することが
必要です。

石川 一番所得の低
いところをどう引き上
げるかが課題なのに、
逆にそこを基準に生活
保護基準をさらに低く
抑え込もうとしている
わけですね。なんとも
ひどい話です。

吉田 そうです。
「1003万円の壁」
は保護基準と一体
問題、すなわち課税最
低限の引き上げは、生
活保護基準と無関係に
語れないと思います。

課税最低限は、憲法
25条が規定する生存権
を保障するために、生
活費に課税してはなら
ないという原則に立っ

て、税金をかけてはな
らない基準を示したも
のです。地方税法に
は、生活扶助を受けて
いる者、同様の者に都
道府県民税は課さない
と規定し、非課税基準
は生活保護基準を目安
にする」と明記してい
ます。

武見前厚労相も 全生連に共感

全生連に共感

吉田 直ちに保護基
準を引き上げることが
必要です。以前は「生
活費がない」といった

その話を武見敬三前
厚生労働大臣にお会い
した時に紹介したら、
「そういうことがある
のか。生活保護者から
『お金がなくて暮らせ
ない』という相談は知
らなかった」と率直に
話されました。保護基
準が「最低限度の生
活」すら賄えないもの
だと痛感させられま
す。これを打開してい
かないといけないと思
います。

石川 昨年、生活保
護を利用しているのに
自殺せざるを得なかつ
た人が118人もお
り、前から37%も増
えたという記事を読み
ました。現在の生活保
護の水準では、暮らし
を支えることができ
ないということでは
ないか」といった相談
が非常に多くなってい
ます。

その点でも生活保護
基準引き上げは必要で
す。ですから、いま行
うべきは、「健康で文
化的な最低限度の生活
水準」とはどのような
ものかを検証し、それ
にふさわしい保護基
準、課税最低限に引き
上げるための見直しを
うだと思っています。

石川 これほどの低
水準の実態を知る機会
はなかなかありません。
吉田 怒りすら覚え
ます。

石川 怒りすら覚え
ます。

石川 怒りすら覚え
ます。

生身の生活から 政治を語ろう

政治を語ろう

石川 先日、日本共
産党の山添拓議員が神
戸で演説をした際に
「私は来年で40歳にな
りますが、まだ奨学金
の返済をしています」
と語った部分がSNS
で話題になりました。

同じ苦労をしている人
が神戸にもたくさんい
るわけです。そこから
政治の話に進むから多
くの人を引きつけた。
この話の順序は大切に
す。生活保護の制度の
話から入れば「私には
関係ない」と思われる
かも知れません。しか
し、リアルな暮らしの
困難から入れば多くの
人の共感を得ることが
できる。そこからみな
まで目指したい政治の
話に進むという話の組



真剣な意見交換がなされた対談

と税金の話
をしようと
準備を始め
ているそう
です。源泉
徴収票など
をみなが
ら、いかに
日本が重税
なのかを共
有し、還付
請求で税金
が戻るな
ど、実益を

得る運動をしようと議
論し、若い人と一緒に
税運動をしようとして
います。

吉田 私の出身の
新潟では、若い人たち
が戻ると

い、事実にも即してもの
ことを判断する堅実な
世論を、粘り強く育む
努力の必要を痛感させ
られました。リアルで
もSNS・ネットの世
界でも日常的な発信力
を鍛える必要があると
思っています。

SNSは選挙の あたらしいツール

あたらしいツール

石川 短期間に真実
世論が大きく転換する
のを目の当たりにしま
した。根拠のない印象
だけの話、意図的なデ
マ、政治を儲けに利用
する動きなど。そ
れらにまどわされな
うございました。

吉田 SNSの活用を積極的
に行いたいと思ってい
ます。今日は、ありがと
うございました。

いのちのとりで裁判・最高裁勝利へ 終局向かう4地域が意気込み



最高裁西門前での宣伝活動(2024年11月12日)

最高裁に上告し、要請活動を24年2月から開始。24年末まで4回の活動では原告・弁護士・支援者が毎回20人以上参加し、最高裁西門前での宣伝活動と同日担当者との面談・

全国で闘われている生活保護基準引き下げ違憲訴訟(いのちのとりで裁判)は2020年から地裁判決、23年からは高裁判決が出された地域もあり佳境を迎えています。うち、すでに終局の最高裁へ審議入りしている4地域の取り組みや意気込みなどを紹介します。

大阪 「勝った」と報告したい 最高裁で宣伝・署名提出

2014年12月19日に提訴した大阪の裁判は10年を超えました。全国初の地裁勝訴(22年2月22日)、全国初の高裁不当判決(23年4月14日)と大阪だけ見ると浮き沈みが激しいですが、全国的には地裁で18勝11敗、運動が確実に広がっている結果だと感じています。

署名提出を行っていき万3070筆(11月12日現在)で、逆転勝訴に

署名提出累計は2日現在)で、逆転勝訴に(雨田信幸さん)

向けまだ足りません。

大阪の原告共同代表の1人だった堰立夫さん(22年12月死去)が地裁勝訴時に作成した記録集の題名を「だまっ

てへんでこれから」と名付けました。堰さんら亡くなった仲間

「勝ったよ」とうれし

愛知 画期的だった高裁判決 最高裁に向けて署名を集中

名古屋高裁は2023年11月30日、愛知訴訟に対し国家賠償まで認める原告完全勝訴の画期的な判決を出しました。判決は原告らのあるべき生活、生き方を丁寧に述べました。名古屋高裁判決は「憲法25条にいう『健康で文化的な最低限度の生活』とは人が三度の食事ができているというだけでは命が維持されているというにすぎず、文化的であるとはいえないし、健康で

あるためには栄養のバランスの取れる食事が可能なこと、文化的といえるためには孤立せず親族間や地域でも対人関係を持つたり、自分なりに何らかの楽しみとなることなどが可能であることが必要であった」と述べました。



日本高齢者大会で裁判の報告(2024年11月23日)

これが保護基準検討の際に、意図的に物価偽装も含め重大な過失

「最高裁に「公正・公平な審理を!」の要請署名を集中しています。(古川 誠通信員)

秋田

「今度こそ勝訴」の思い 毎月第3木曜日に駅前行動

秋田・人間らしく生きる裁判を支える会は



宣伝・署名行動の参加者たち(2024年10月17日)

地裁と高裁の不当判決に負けていられないと毎月第3木曜日に、秋田駅前での宣伝・署名行動を続けています。マ

イクの訴えを合図にチラシとティッシュを配る人、署名の看板を持つ人、横断幕を持つ人に分かれ行動します。

渡しながら署名にも導く行動力があります。伊藤孝一さんと島貫栄四郎さんは、歩行者と話し込み署名に結びつけています。「生活保護基準引き下げは違憲」と書いた横断幕を見て、自らチラシを受け取る人や署名する人もいます。最近では沖縄や鹿児島の人も署名してくれました。

旭南班の伊藤光子さんと伊藤恵美子さん、櫻田雄美さん、原告団長は、チラシとティッシュ渡しのベテランです。田五郎班の須藤ツヤ子さんは、歩行者にチラシを

1月には支える会の総会です。「今度こそ勝訴!」の思いで頑張ります。(高橋京子さん)

兵庫

最高裁へ再起誓い合う 選挙後に支援する会が総会

2024年4月26日に大阪高裁で全国4番



支援する会の第16回総会(2024年11月24日)

目の判決が出た兵庫生存権裁判は、一審に続く不当判決で、しばらく意気消沈しました。高裁判決まで控訴審

の度に高裁前宣伝など一定の活動をしていました。しかし、判決直後こそ「あんな判決文なら俺でも書ける」と息巻きました

2つの選挙後、冷めかけた情熱を今一度喚起しようとして11月24日、生存権裁判を支援する会の総会を開催。選挙後の疲れがある中でも32人が集まりました。弁護士から決して落ち込む必要はないと励ましをもらい、再び高裁判決後の怒りを思い出し、あらゆる機会を通じて不当な基準引き下げ撤回と物価高に見合う引き上げを求めていくことを誓い合いました。(泉 伸忠さん)

が、最高裁への上告に時間がかかることなどで次第にその熱も冷めかけ、みんなの関心も衆院選や兵庫県知事問題(選挙)へと向かっていきました。



座談会参加者

- 左から 岡久郁子さん (84) 西区副会長
- 竹中 勝さん (46) 東区会員
- 牛尾清彦さん (83) 安佐南区会長
- 加藤恵子さん (43) 東区事務局長
- 成田 結さん (37) 西区会員
- 三村正弘さん (79) 中区理事

今も「原爆」とたたかい続ける 被爆80年 広島市の会員座談会

今年が広島・長崎原爆投下、終戦80年です。広島市内の生活と健康を守る会の被爆者と会員のみなさんに話を聞きしました。

被爆者は三重苦しいられ



逃げようとしたが大勢人が来て、行けませんでした。

牛尾 原爆が落とされたのは私が4歳のとき、爆心地から4キロ離れた所にいました。母と3歳の妹がいて、窓ガラスが2、3センチ飛び粉々になった記憶がすかにあります。聞いた話では、真っ黒なすが座敷に広がっていた。

その日、町内会の勤労働員の当番に行けず、母は隣の奥さんに頼んでいました。大やけどをして帰ってきたけど、1週間後に亡くなったことは母の心の傷となりました。

私は大学を卒業後、周りは被爆者が多いことから被爆者運動の1人として、広島市西区、爆心地から1・5キロにある福島生協病院に勤務しました。当時、被爆による病・心身への負担、被爆への偏見・部落差別、そして貧困の三重苦で、身も心もずたずたな状態で過ごしていました。病院には相談室があり、生活と健康を守る会の事務所もありました。

1960年代の初めに、原水爆禁止世界大

母が、2人の子に夏

布団をかぶせ山の方へ

ある福島生協病院に勤

務しました。当時、被

爆による病・心身への

負担、被爆への偏見・

部落差別、そして貧困

の三重苦で、身も心も

ずたずたな状態で過ご

していました。病院に

は相談室があり、生活

と健康を守る会の事務

所もありました。

1960年代の初め

に、原水爆禁止世界大

た。その後、日本福祉大

学を卒業した三村さん

が就職してきて、仕事

も運動もみんな一緒に

にわいわい楽しく行っ

てきました。

「黒い雨」2次訴訟起す



村の診療所に通っていました。8月6日、診療所に着いたとき、広島の方で大きな爆発音がして空が真っ赤になり、間もなく焼け焦げた紙くずやごみがたくさん降ってきました。

母のおなかの中でした。母は国鉄の広島工機部に務めていて、白島しまの家から通っていま

した。原爆投下半年前に、母は52歳の祖母、4歳の私、2歳の弟の3人を現在の佐伯区湯来町という爆心地から約20キロの山間地へ疎開させました。

6畳一間に3人での生活です。そこで「ブヨブユ」にかまれ傷だらけになった私たち

きょうだい、祖母に連れられ峠を越えて、

全盲であんまをして

いた母の兄が大阪空襲

から広島へ逃げてきて

いたので、母は友人宅

から3日間、兄を探し

に行きました。

私は「黒い雨」に降

られました。区域

が該当しないと被爆

者健康手帳を認められ

ず、2023年4月28

日に「黒い雨」第2次

訴訟を起こし、その団

長をしています。100歳になる母と

昨年、島根県にある夫

(父)の実家にいった

とき、家には「夫」が

胎内被爆認定までに67年



して認定されて原

爆病院に入院した

ことで、私は原爆

被害を自覚しまし

た。父は入院1か

月後の6月に62歳で、

母も11月末に子宮がん

で52歳の若さで亡くな

りました。

8月6日、父は夜勤

明けの帰宅途中で爆心

に

出征時の軍服姿の写真

があり、26歳のままの

姿を母が見たのです。

どんな思いだったでし

ていました。母は爆心

地から6キロ離れた自宅

にいて、翌7日と13日

に実家に安否確認と食

料持参で入市しました

が、被爆者健康手帳は

持っていないままでし

た。

母は手帳を持ってい

なかったため、胎内に

いた私は、手帳取得は

不可能とあきらめてい

ました。

ところが、10歳上の

兄が同級生を探し出

た。

9日に校内で平和集会

があり、長崎の被爆者

が体験を話してくれま

した。その日に長崎の

平和像に折り鶴を持っ

ていくのですが、その

日に間に合うように折

り鶴を折りました。

貧困・被爆・差別の

三重苦の話は初めて聞

きました。改めて戦争

を起すてはいけない

と思います。貴重な

話を聞いて良かったと

思います。ありがとうございました。

戦争起こしてはいけない

成田 私の祖父は原

爆投下後、広島市内の

片づけに入った二次被

爆者で、原爆健康手帳

を持っています。97歳ま

で生きたのですが、私

は被爆3世になりま

す。三村さんのように

入市被爆を認めさせる

のは難しく、みんな

勝ち取ってきたのだと

知り、びっくりしまし

た。

竹中 生まれと育ち

が三重県です。三重で

は原爆のことといえば

白黒の写真や、全校生

徒が集まって原爆投下

の映像を見たくらいで

す。休憩時間や昼休み

に『はだしのゲン』(中

沢啓治著)を「すごい。

こんな話があったん

だ」と思いながら、ず

っと読んでいたことが

印象に残っています。

加藤 私は長崎出身

で、小中学校では8月

ございまして。



竹中さん



成田さん



加藤さん

楽しい場には人が寄る

2025年も拡大にダッシュ

滋賀県連

滋賀県生活と健康を守る会連合会（滋賀県連）は2012年の県連再建から連続拡大を進めています。その取り組みについて稲森善稔会長に報告してもらいました。

22年交流会後も前進 3000世帯から464世帯

滋賀県は、1000年の歴史ある都・京都に近く、近くに湖があることから「近江の国」と呼ばれていました。県下の自治体数は13市6町で、人口140万人の小さな県です。滋賀県連は県連再建10周年を記念して開



2024年ダッシュ交流会



甲賀市議会厚生文教常任委員会に
加季加算申し入れ



湖南生健会高杉班主催「淡路島バスツアー」

甲賀生健会水口班の「桜を見る会」、土山班の「焼きそば班会」、湖南生健会の「野外レクリエーション善水寺散策・石部宿散策



滋賀県連9組織

417世帯新聞425部へと躍進しました。全生連第45回全国大会補聴器補助署名を1121筆集め町長に提出した。湖南から「生活保護引き下げ違憲訴訟は大きな法廷で開かれるので、バスをチャーターして参加する」県連総会を450世帯にして成功させよう」などの発言に励まされながら交流しました。24年1月16日も「2024年滋生連ダッシュ交流会」を催し、会員

班での企画も多彩

散策、健康、バスツアー

楽しい企画

「集まって楽し、話して楽しんで、楽しい場には人が寄ってくる」を証明し、以後、班を中心とした楽しい企画が進められ、この中で会員が増えてきました。大津生健会では「ランチサロン」、瀬田班、石山班の「敷居の低い何でも話し合う会」、唐崎班の「健康を語り学ぶ会」。

県連内で交流重視

班会や介護保険の要求も

総会を目指し

「毎月恒例の映画会・毎月1回おふくろ弁当・温泉に入ってお飯を食べよう会・草木を見る会」。

高島生健会では「ホテルで総会と懇談会」な

統一行動日を決め、対象者を明確にし、「組

「何かあれば相談できる」という思いで声をかけて増やしています。仲間ふやしは要求実現の大きな力です。

「ニュース」発行

今年「5か年組織建設計画」をもつよう提案する予定です。滋賀県連は発展途上県です。先輩各県連の教訓に学び実践している通過点にすぎません。全国の組織に追いつけ追い越せと奮闘中です。

ど。参加者から「楽しかった。こんなに笑ったのは久しぶり。またやってな」と期待が高まっています。湖南生健会は、医療生協診療所・新婦人の会など他団体とともに駅前「街頭なんでも相談会」を開設。医療生協の看護師は血圧測定なども実施します。草津生健会などは役員会に合わせ「相談会」をしています。農家からコメの寄付があれば小分けにして困窮者を訪問し配布し、食糧支援センターから「餃子の王将」の弁当をもらえるので困窮者から予約を聞き配達している組織もあります。

各地の要求運動

各単組とも、自治体に対し生活保護利用者の冬季・夏季加算や、エアコン補助、介護保険料審査請求、生活保護違憲訴訟の運動に取り組んでいます。「介護保険料審査請求運動」の中で草津生健会では「あまりにも介護保険料が高く公的負担多すぎる。そんな運動だったら一緒にやりたい」と言って入会した人がいます。

終わりに

今年「5か年組織建設計画」をもつよう提案する予定です。滋賀県連は発展途上県です。先輩各県連の教訓に学び実践している通過点にすぎません。全国の組織に追いつけ追い越せと奮闘中です。



県福祉課へ介護保険料審査請求書を提出

集って楽しく 各地の活動

「平和」の願い込めて 60周年記念で壁画

徳島市

徳島市生活と健康を守る会は11月10日、壁

画づくりの写真が全生和」をテーマに描きま

連第45回全国大会の写真コンクールで第2位になったのが励みになり、今年も7人で阿南市那賀川町出島防潮堤に壁画を描きに行きました。

全体のテーマは「夏

でしたが、下絵を考え

た山西タヨ子さんは、

「日本原水爆被害者団

体協議会がノーベル平

和賞をとった。子ども

たちに平和を残そう」



くす玉を引いて盛り上がる

100歳までがんばる

6年ぶりの温泉旅行

北海道 厚別区

厚別区生活と健康を守る会は11月23日、美唄市の「ピパの湯ゆりん館」に21人の参加で日帰り温泉旅行に行きました。コロナ禍だったため6年ぶりの開催になりました。



豪華な昼食

北海道は、今年例年より早く雪の予報が出ましたが、元気に雪を吹き飛ばし晴天で旅行会を迎えました。



壁画に描き込む様子

林ヒロ子さんは「みんなで色を塗り、緑に囲まれて海を眺めながらのんびりとした時間を過ごせた」と感想を述べました。



話をする佐野春枝京生連会長

また伏見生活と健康を守る会の日さんは、30年前から生健会で審査請求も行って車の所有を認めさせてきたこと、そのことを必死に頑張ってきたことなどを発言しました。

(山内佳子通信員)

府下で女性のつどい 映画「人間裁判」に学ぶ

京生連

全京都生活と健康を守る会連合会(京生連)は11月30日、女性

た。88歳の人は、帰りのバスで参加者の感想を聞くと「お風呂が良かったし、食事も良かった」「普段会えない人に会えてよかった」。88歳の人は、素敵な笑顔が見られて、集まりを持つ大事さを感じた日帰り温泉旅行でした。

(吉村理智子通信員)



未来社会を豊かにするために

全生連 2025年新春 青年の要求

5代目バトンを

北海道生活と健康を守る会連合会

松浦沙也加さん(33)

生活と健康を守る会では、青年・壮年層への活動の継承が大きな課題の一つになっています。30代の2人の会員が活動の継承や会のあり方をめぐる周囲の青年らの声や、今年の抱負などを語りました。



北海道生活と健康を守る会連合会(道生連)の事務局で働き始めて4年が過ぎました。以前は飲食店でパートとして働いていま

祖母や母の話では、曾祖父も守る会の会員だったとのこと、私は4代目になります。道生連での最初の仕



事務所で新聞を折る松浦さん(左)

事は財政でしたが、1年が過ぎたところ、全生連運動に関わることもなり、ニュースやチラシ作りをするようになり。さらに1年が過ぎたところ、「相談員にならないか?」と声をかけてもらいま

生健会の可視化必要

京都・上京生活と健康を守る会

小崎 駿さん(31)

の世帯が多く、「異次元の少子化対策しても終わったの?」「お金のことさえ気にしなくて済むなら、いくらでも



私は大学入学を機に三重県から京都市へと引っ越し、以来10年余り

で生活保護を利用していました。高校進学後は教師に隠れてアルバイトをして、家計の足



北野天満宮前での宣伝活動中の参加者

しにしています。大学は学費免除がとれた京都府立大学の文学部で歴史学を専攻しました



マイクで訴える小崎さん

が、奨学金という名のローンだけでは生活費をまかなえず、アルバイト漬けでした。また、教育の格差を解消するため

2024年7月の道生連大会で事務局次長になりました。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」

の当事者でしたが、専門的な知識を体系的に学んだことはありません。貧困の連鎖を断ち、未来社会を豊かにするために、今年

は福祉制度・福祉政策を学び、活動に生かしたいと考えています。

2024年

国内10大ニュース

能登地震、裏金問題、コメ騒動

◆元日の能登半島を大地震が襲う
1月1日午後4時10分ごろ、石川県の能登半島で最大震度7の地震が発生。建物の倒壊、火災、津波の被害に加え、道路の寸断、断水が生活再建を遅らせる。犠牲者は災害関連死を含め445人(10月31日現在)。

◆人事院、平均2.76%引き上げを勧告
24年度の国家公務員の給与について、人事院は平均1万1183円(2.76%)の引き上げを勧告。「公務員離れ」の解消へ初任給を12・8〜14・6%引き上げるが、多くの中高年の給与は物価上昇に満たない(8月)。

◆お正月の夕刻、羽田空港で衝突事故
正月1月2日、羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突、炎上。5人が死亡、機長が大けがを負った。

◆お正月の夕刻、羽田空港で衝突事故
正月1月2日、羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突、炎上。5人が死亡、機長が大けがを負った。

◆お正月の夕刻、羽田空港で衝突事故
正月1月2日、羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突、炎上。5人が死亡、機長が大けがを負った。

◆お正月の夕刻、羽田空港で衝突事故
正月1月2日、羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突、炎上。5人が死亡、機長が大けがを負った。

◆お正月の夕刻、羽田空港で衝突事故
正月1月2日、羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突、炎上。5人が死亡、機長が大けがを負った。



能登地震は大きな被害

る不作などから民間在庫量が低下。新米が出回り始めたが、価格高騰が家計を直撃。コメの価格を市場任せにするあり方に問題あり。

◆自民党の裏金問題に批判高まる
自民党の旧安倍派などが政治資金パーティ収入を政治資金収支報告書に記載せず、所属議員らに「裏金」を還流させていた問題に批判高まる。与党は政策活動費の「10年後の領収書公開」など抜け穴だらけの政治資金規正法改正案を数の力で通す(6月)。

◆全生連が創立70周年9月に全国大会
全国生活と健康を守る会連合会は1954年に結成され、24年11月20日で70周年を迎えました。それに先立ち9月に6年ぶりにリアルで第45回全国大会を開催し、2年間の方針を決めました。

◆日本被団協、ノーベル平和賞を受賞
日本被団協が今年のノーベル平和賞を受賞(10月)。被爆証言を通じて「核兵器が二度と使われてはならない」ということを、身をもって示してきた」とたたえられた。

◆与党15年ぶりに過半数割れ
10月27日投票の衆議院選挙で、自民・公明の与党が15年ぶりに過半数割れとなる。裏金問題、数の力による横暴な政治への怒りの表れ。夏の参議院選挙は、政権交代をめざすチャンス。

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申
24年度の地域別最低賃金改定で、中央最低賃金審議会はA〜Cの各ランク区分について、一律50円の引き上げ目安を答申(7月)。

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申
24年度の地域別最低賃金改定で、中央最低賃金審議会はA〜Cの各ランク区分について、一律50円の引き上げ目安を答申(7月)。

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申
24年度の地域別最低賃金改定で、中央最低賃金審議会はA〜Cの各ランク区分について、一律50円の引き上げ目安を答申(7月)。



全生連70周年記念 第45回全国大会

えた。25年は被爆80年。

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

◆中央最賃審、一律50円引き上げを答申

お正月を楽しもう♪ 親子で簡単クッキング

家庭料理研究家 池上正子

ひと口ホットケーキサンド



作りやすい分量

おすすめ

の具材

作り方

ポイント

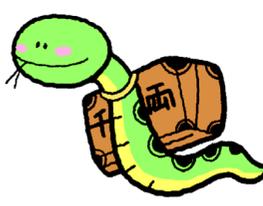
乳または豆乳150cc、サラダ油適量、お好みの具材適量。

① ボウルに卵を割り入れ牛乳を加えてよく混ぜる。ホットケーキミックスを加え、さっくり混ぜ合わせる。

トカゲの進化
は虫類であるヘビは、ワニやカメ、トカゲなどの仲間。1億3000年ほど前に海中で暮らすトカゲから進化し、長い足、耳、目が退化し、体も長くなったと考えられています。

2025年 干支の雑学

十二支の6番目の巳年、動物では蛇。



人を助ける

「蛇足」は余計

国際連合の専門機関、世界保健機関(WHO)の紋章には、ヘビが巻き付いたつえが描かれています。これは「アスクレピオスのつえ」と呼ばれ、ギリシャ神話に登場する医療の神アスクレピオスの象徴。医療のシンボルとして世界中に救急車にも描かれています。

「蛇足」は余計
ヘビにまつわる熟語やことわざで、よく知られているのが「蛇足」。余計な付け足しや、必要がないことを意味します。

トカゲの進化
は虫類であるヘビは、ワニやカメ、トカゲなどの仲間。1億3000年ほど前に海中で暮らすトカゲから進化し、長い足、耳、目が退化し、体も長くなったと考えられています。

カゲなどの仲間。1億3000年ほど前に海中で暮らすトカゲから進化し、長い足、耳、目が退化し、体も長くなったと考えられています。

新春幸報

小菅りや子



《読者のひろば》投稿募集中
◇投書は200~400字程度で
◇絵手紙の掲載者には、図書カード贈呈。

読者のひろば



96歳年女の義母 このまま元気で

新潟県阿賀町
神田さかえ(74)

わが家も、義母、夫、私と健やかに新年を迎えられたいに幸せを感じています。

今年、義母は96歳になります。巳年生まれの年女です。とても元気で、晴れた日には毎朝、庭の草むしりをしてくれらます。私たちが住んでいる地方は、今年間しています。

月日の流れの早いのに驚きます。

一昨年に生まれたひ孫が1歳を過ぎ、昨年1月に生まれたひ孫も1歳を迎えます。

新年の書

堺市西区 深谷祐光(73)

「戦争が廊下の奥に立ってゐた」は
俳人・渡邊白鳥の1939年の句

戦争の奥に 立ってゐた

渡邊白鳥の句

れから長い間、雪に閉ざされる生活になりま

す。毎日、点つなぎやマチガイさがしを日課としていた。義母は、春までの分といつて何冊も問題集を買い求め

ていました。以前どこかで飼われていたのでしょうか。いつまでも元気でひ孫たちの成長を見守ってほしいと思いま

す。今年も一年、よろしくね。

早朝の新聞配達 キツネに出会う

札幌市豊平区
前田希左人(66)

子どもを襲つかも恐れませんが、病気を移される心配はないのかも気になります。

人や動物に優しい政治、核兵器のない時代が来てほしいです。

そうなれば、動物ももっと愛されて、捨てることにはないと思います。

介護崩壊の問題 労働改善が必要

京都市右京区
岡野能咲(66)

介護事業者の倒産、介護職員の減少など「介護崩壊」が問題になっていきます。

自分に介護が必要になったとき、果たしてサービスが受けられるのかと心配です。

ケア労働者の賃金・条件を厚くして、人員を増やすことが必要です。

労働者が安心して仕事ができることで、サポートを受ける側も良いサービスが受けられます。そして、労働条件の改善は、経済の好循環につながると思います。

ハガキ短信

見つけてすっきり

石川県金沢市
野村鈴恵(67)

「守る新聞」に「ア」
つこのマチガイが掲載されると、すぐにマチガイを探しています。今回は、最後の7つ目のマチガイが発見できず、小学4年生の孫の力を借りました。そして見つけました。

感じる地球温暖化
さいたま市中央区
安保幸子(68)

今年、秋があまりにも短くて、地球温暖化を感じざるを得ませ

体の調子が改善
大阪市平野区
松田忠明(79)

先日、義姉の家に

きました。義姉は今、92歳だと言っていました。しかも、親類は長生きの人が多くも言っていました。私も現在酒をやめ、なんとなく調子が良いように思います。



出題・モロスミ勝

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	32	33	34	

問題
二重フウの5文字をうまく並べて
できるお正月に関する言葉はなに

答

チルチルとミチルが探すもの
歌劇のことです
一心……をも通す
大谷選手は193センチ
大酒飲みの人をへびに例えて言うこと？
カエルは両生類、へびは？
分かれる所、……点
スニーカーもハイヒールも
中世代に繁栄した巨大動物
重い物を引っぱる作業車
アガサ・クリスティ作
「……急行殺人事件」
日本全土にいたる毒へび
……をついてへびを出す
知らせ……表。転居……
「猫の恋」は……の季語
頭隠して……隠さず
イヌも歩けば……に当たる
除夜の……は108回つゝ

ヨコのカギ

- 1 加山雄三が「若大将」なら田中邦衛は？
- 6 沖縄などに分布する毒へび
- 8 手術のことです
- 9 雑煮や汁を入れる木の器
- 10 感染症予防の医薬品
- 11 首都はバグダッド
- 13 幼な友達。……の友
- 14 ♪犬は喜び庭かけ回る
- 15 ……に提灯。……がらす
- 17 大谷選手の前人……の記録
- 19 世界最大級の祭り、有名な……のカーニバル
- 21 洋式の部屋
- 23 音楽の速度記号で「最もゆるく、ゆっくりと」の意
- 24 ユートピアは……郷
- 25 衣類の穴、……かも？
- 26 花びらが重なった……桜
- 27 努力して目的をやりとげた人の……伝
- 30 卒業記念に編む
- 32 グループ演奏で歌う人
- 34 ハンチング帽のことです

タテのカギ

- 1 チルチルとミチルが探すもの
- 2 歌劇のことです
- 3 一心……をも通す
- 4 大谷選手は193センチ
- 5 大酒飲みの人をへびに例えて言うこと？
- 6 カエルは両生類、へびは？
- 7 分かれる所、……点
- 8 スニーカーもハイヒールも
- 9 中世代に繁栄した巨大動物
- 10 重い物を引っぱる作業車
- 11 アガサ・クリスティ作
- 12 「……急行殺人事件」
- 13 日本全土にいたる毒へび
- 14 ……をついてへびを出す
- 15 知らせ……表。転居……
- 16 「猫の恋」は……の季語
- 17 頭隠して……隠さず
- 18 イヌも歩けば……に当たる
- 19 除夜の……は108回つゝ
- 20
- 22
- 26
- 28
- 29
- 31
- 32
- 33

【送り先】答えと住所
氏名・電話番号を書
き、〒160-0002
2東京都新宿区新宿5
の12の15 KATOヒ
ル3階 全生連ハズル
係まで。1月22日必着
10人に図書カードを贈
呈。
★余白には新年の思い
などを。
「読者のひろば」など
に掲載することがあり
ます。

新春読者文芸



短歌

小石 雅夫選

仲間等と唇力ヲオケで楽しんで自信の持ち歌声若返る

神奈川 関 美恵子

玉木さん遂に与党に鞍替えか一〇三万で得意満面

長野 三浦 敦男

〈評〉課税基準UPは必要だが自民補完に利用されて。階段を静かに登る元日は賽銭厚めに拍手を打つ

新潟 徳武 昇

石破さん企業献金続けると国民主権理解できない

静岡県 勝野 廣宣

〈評〉主権者の人権と利益追求企業体とを同列視とは。いちよこの木樨く黄色見上げればヨチヨチ歩く孫よみがり

京都府 青木 章

ガザの街またまた死者がテレビから瓦礫を運ぶ血だらけの拳

大分 山田 誠子

総選挙時短賃上げ掲げしが躍進ならず次期を期待す

熊本 右田 捷明

我が胸に誓りて守る道ありき生命かけこし思想を愛す

北海道 堀田美千子

核のゴミ棄てる所をもっとよく考えようや宇宙はどうか

北海道 増田 磨輝

〈評〉核ゴミなど棄てることより核廃棄物を作らぬこと。八十年戦争のない稀な国憲法九条日本の宝

北海道 三隅 雅游

〈評〉悲惨な戦争から一世紀近い平和維持の有り難さを。要するに足を踏んぱり歩くことそれが転倒防止につながる

秋田 成田 伸世

旧友とスマホで話す連合ののしるに力スタネットな

千葉 岩澤 秀雄

ウクライナ、ガザの人等もこの星に生きる権利があると

埼玉 五十嵐久子

思うに

御神籤は大吉なるらし若きらが歓声あげて結ぶ高枝

埼玉 小高 弘子

埼玉 小高 弘子

平和運動に生きし夫に知らせたき「ノーベル平和賞」被団協の受賞

埼玉 炭谷 素子

ピザパイの容器使ってモノづくりのアイデアジャンプ十歳の孫

埼玉 細谷 宣朗

平和賞の受賞を力に進めゆく核廃絶へ意気盛んなれ

埼玉 田中 吉忠

晴れた日の日曜朝のスーパー前政治を変えよう声出します

埼玉 福家 駿吉

眼も遠く耳も遠くになりけり近くなるのはトイレのみ

埼玉 丸川 道枝

葛飾の柴又駅前東の像「さくらいいね東さんサミット」

埼玉 岩淵 憲弥

「元気でね」一年分の挨拶のいつもの友のいつもの賀状

埼玉 金井 緑

初々し青春遠く変わらずに心の中の真っ直ぐなもの

埼玉 唐亀 美影

ハニワにも刀剣弓矢を持ちしあり一よやく戦争放棄の九条を持つ(東京国立博物館「はにわ展」にて)

小石 雅夫

昨年年初から能登震災、そして各地の豪雨災害、異常な熱夏と人間の欲望の果ての環境破壊、温暖化の結果を迫られたようであった。さらに世界で一向に止まない戦争。有史以来人間は一体何を体験、学んだのか。ただ唯一、年末近く日本被団協がノーベル平和賞受賞の報が世界に、人間に希望を取り戻させた。

俳句

飯田 史朗選

寅さんが迎える駅や初もうで

長野 小山 憲二

〈評〉「寅さん」といえば葛飾区柴又駅前に「寅」と「さくら」の像があり、帝釈天の参詣人を迎えてくれる。

寒波くる一番星を磨きあげ

広島 中村 絹枝

〈評〉登み切った冬の一番星がきらめくそのさまを「磨き上げた」の措辞は感性の賜物。

義母の味野菜たっぷり雑煮かな

千葉 小山 順子

〈評〉義母との仲のよさを明るい新年を迎えられた。

初富士を浮かべて湾の波静か

東京 伴 敏子

〈評〉相模湾からの景か。静かな新年の姿。

大日青春の日のニコライ堂

東京 高料 謙称

〈評〉青春時代の正月、ニコライ堂での良き思い出を。七草を摘むやエプロンあふるるに

大分 山田 誠子

〈評〉エプロンに沢山の七草を摘み七草粥の準備。喜寿迎ふ夢まだありき初日記

岩手 前田 三子

〈評〉77歳が喜寿。初日記に抱負を記すとは若い。

世界中のすべてを包む初日かな

青森 戸川 美重子

〈評〉戦争、洪水、干ばつ、疫病など、負の問題が絶えない地球。初日で全ての人に希望を願う。

核廃絶の大波寄せる初日の出

埼玉 成田 榮一

〈評〉被団協のノーベル平和賞受賞。これを力に世界の反核運動に大きな波がくることを。

最初だけ膝を揃えて歌留多会

東京 金井 緑

故郷やりんど便りと宅配便

東京 岩淵 憲弥

どんぐりと落ち葉の朝や参詣す

埼玉 福家 駿吉

物価高初荷の米のありがたき

埼玉 右田 捷明

高裁へ有明海苔のにぎりめし

熊本 中村 典子

紫のもって菊ほんわりと甘く

宮城 小高 弘子

フリーパス盲導犬も初もうで

埼玉 茂垣 昌一

ストレスも回す糧にし独楽握る

東京 岩澤 秀雄

寒空にダイヤモンドリィ紅い花

埼玉 五十嵐久子

布団とふ煎餅布団に歴史あり

飯田 史朗

地球儀のかげりへ灯す福寿草

新年おめでとうございます。昨年は元旦に能登半島を激震が襲う大変な年明けでした。世界を見ると戦争による貧困と飢餓、気候変動による洪水、干ばつ、山火事、極暑など農作物の被害甚大で地球の危機を感じる年でした。そんな中、被団協のノーベル平和賞受賞は大きな灯りと。今年も前を向いて歩きましょう。

新しい年ジェンダー平等で新鮮に

北海道 西田 忠行

初日の出ぐつと鉢巻締め直す

三重 鈴木 好明

師のくれし毛筆賀状に魅せられる

埼玉 小高 弘子

元日に祖父母にあげるお年玉

新潟 神田さかえ

〈評〉新年らしく旧年に期待や決意の句が詠まれました。今年は都議選、参院選です。私たちの生活と平和を守る力を大きくしましょう。今年が平和で明るく住みよい年になりますように。

裏金で政治歪めた自民党

北海道 渡辺 満

石破氏は手のひら返し得意技

青森 新岡 武信

玉木さんいつから与党になったのか

長野 三浦 敦男

危険予告ゲームと化した総選挙

千葉 岩澤 秀雄

〈評〉総選挙で国民の審判は裏金への怒りです。その根底に高物価や低賃金など、経済失敗への不審、批判。神宮の森は生きてるそのままに

東京 唐亀 美影

温暖化季節感さえ薄れつつ

静岡 安間 郁夫

再稼働原発事故忘れられたか

埼玉 岩淵 憲弥

〈評〉7割の都民の反対に伐採強行は許されぬ。迫る気候変動、この10年の選択や対策は、数千年先まで影響。

九条碑平和憲法永久に

埼玉 福家 駿吉

〈評〉世界の宝、9条で平和外交。今こそ9条生かすとき。そのためにも米国いいなりで軍力増強に突き進むのでなく、自主自立の外交で平和をつくる道に転換を。

まゆ玉の枝まで瘦せる物価高

北海道 三隅 雅游

〈評〉終点が見えない物価高騰に国民の怨恨の声が日々大きくなっている。これに対して石破政権は、無為無策に加えて、重大な問題として、補正予算として過去最大となる軍事費8268億円を計上しており、大震災に襲われた能登地域の復旧・復興費2682億円の3倍以上。深刻な物価高や大学の学費高騰など使い道はある。

三々五々老人ホームの映画会

東京 高料 謙称

我が人生元気に勤め今があり

兵庫 藤田 幸子

〈評〉豊かな日常を上手に切り取って川柳に。

企業から甘い汁吸いやめられぬ

大和 峯二

選者を務めることになった大和です。川柳は、17文字で森羅万象を表現し社会を変える可能性を持っている文芸。平和で豊かな日本へ大いに作句を。

川柳

大和 峯二選

困難に屈しない日よ祝いあれ

北海道 増田 磨輝

助け合いゆるる心に勝る年

大阪 俵谷真理子

全生連
2025年
美術館



「コウノトリ」 島根県松江市 片寄直行



「シヤコバサボテン」 北海道苫小牧市 渡辺満



習字 北海道網走市 大段巻乃助



「花瓶」 北海道北見市 高橋陽子



東京都町田市 大川口淑子



東京都墨田区 宇賀神聡子

総年紙



名古屋市緑区 佐藤五子



川崎市高津区 林 ちづ子



新潟県阿賀町 神田さかえ



大阪府泉南市 前田千代子